教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.１７９
令和４年１２月２６日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　心温まる作品　』

今金町教育長職務代理者　　小野　嘉代子

２０２２年も終わりに近づき、今年を振り返ると、各行事も少しずつ再開することが出来た一年になったと喜びを感じています。

学校訪問も再開でき、今金高等養護学校へも訪問出来ました。

授業の様子を見学し生徒たちの作品を見て、完成度だけでなく、作品一つ一つが丁寧に作られていて、生徒の思いが伝わる作品でした。

陶器や和紙、布製品や農作物など、一生懸命取り組んだ作品なんだと感じ、大人の自分が忘れていた思いが巡って来て、恥ずかしいな・・・と思う気持ちと、見ていて心が温かくなる・・・と思いました。

最近は考えられないくらい酷い事件が多々起こり、世の中どうしてしまったのか？と驚きの連続です。そんな中、心温まる作品を目にして、将来を担う子供たちの為に何をしてあげられるのだろうか？と感じた時間でした。

今年も一年、たくさんの方々に学びをいただきました。

出会いに感謝をし、お礼申し上げます。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。皆さまが良い年を迎えられるようお祈りいたします。

ありがとうございました。



良い2023年に

２０２２年（令和４年）最後の週になりました。

良い年だったと思います。そうでなかったことは忘れました。薄情なのでしょう。でも、その時その場で、自分事として納得してきたことばかりだから･･･。

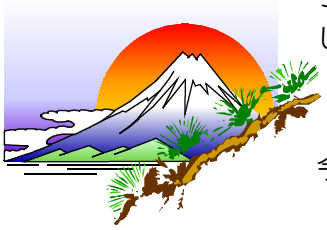
お正月を迎えます。コロナとは関わりながらも、この年末年始は町中でも昨年は見られなかった顔に出会えるかもしれません。皆さんお幸せに。

私のできることはちっぽけかもしれませんが、２０２３年も公私ともに頑張ります。

予測不能な変化の激しい時代･･･実感させられます。「昔は」はノスタルジーとして大好きな雰囲気だけど、不易を大事にしながら新しい動きを見極めて、後悔しないよう、させないよう学んでいきたいと思います。

自分にもまだ期待している２０２３年（令和５年）です。

今年もお世話になりました。皆様良いお年を。



そういえば俺、凧揚げ上手かったんだよなあ。見ることないなあ･･･　ノスタルジー･･･

